

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サガセルキッズ			
○保護者評価実施期間	令和8年 9月 1日		～	令和8年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和8年 9月 1日		～	令和8年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 10月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による専門的な視点から、子ども一人ひとりの発達段階や特性に応じた的確な支援・助言を行っています。 また、個別室を活用し個々の課題やニーズに合わせてきめ細やかな支援を実施しています。さらに、一日のスケジュールの視覚化や絵カードの活用など、視覚的に理解しやすい環境づくりを工夫し、子どもが見通しを持って安心して活動に参加できるよう支援しています。	専門職の専門的な知識や助言を職員間で共有し、子ども一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援に繋がっています。 個別室を活用し集中できる環境を整えるとともに、一日のスケジュールの視覚化や絵カードの活用など、子どもが活動の流れや内容を理解しやすいよう工夫しています。個々の理解度や状況に応じた環境設定や声掛けを意識して取り組んでいます。	今後も、専門職の助言を職員間で共有し、支援の質の向上に繋げるとともに、子ども一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援方法の充実を図っていきたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の対応マニュアルや事故対応マニュアルは整っており、年2回防犯・防災避難訓練も行っているが、午前の部では訓練の実施を行えていない為、利用する子どもや保護者への周知が十分に行き届いていない点が課題である。また、職員間で情報共有や支援内容の検討を行うミーティングの時間が限られており、十分な話し合いや情報共有の時間を確保することが課題である。	避難訓練については、午後の部を中心に実施しているため、午前の部の子供や保護者に訓練内容や実施状況を周知する機会が十分に確保できていないことが要因である。また、日々の支援業務、利用児童の対応などにより職員全体が集まって話し合う時間の確保が難しく、情報共有や支援内容の検討に十分な時間を充てられないことが要因となっている。	午前の部を利用する子どもや保護者にも避難訓練の実施内容や避難方法について理解してもらえるよう、SNSやお便り等を活用し、周知方法を工夫する。また、職員間の情報共有や支援内容の検討を効率的に行えるよう、ミーティングで話し合う内容を事前に整理し、要点を絞って共有するなど、限られた時間を有効活用できる体制づくりに努めていく。
2			
3			